

第49回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門に参加しました

令和7年7月26日（土）から7月30日（水）にかけて香川県で開催された第49回全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門（かがわ総文）において、本校3年2組の神谷祐香さんが作品を出品し、全国展出品記念賞を受賞しました。

作品展示は高松市美術館で行われ、神谷さんの作品「継承の音色」（キャンバス・アクリル）も全国から集まった作品とともに展示されました。また、7月26日（土）には香川県庁ホールにて開会式・講演会・講評会が行われました。

7月27日（日）には、高松工芸高等学校にて生徒交流会が開催され、自己紹介や作品説明を通して、全国の高校生と交流を深めました。交流会では、香川県にちなんだモチーフの張り子に絵付けを行い、完成した作品を用いて鑑賞交流を行うなど、創作を通した活発な意見交換が行われました。

神谷さんは「前年度のぎふ総文でのファシリテーターとしての経験を通して、今年のかがわ総文に招待していただけたことは、自分にとって大きな夢でした。全国から集まった美術に対する感覚や興味を持つ高校生と意見を交わす体験は非常に新鮮で、楽しい記憶として強く残っています。また、初めて訪れた四国で、自分の住む地域とは異なる文化や景色に触れ、同じ日本でも多様な文化が根付いていることを実感しました。」と感想を述べています。

全国規模の舞台での発表と交流を通して得た経験が、今後のさらなる創作活動につながることを期待しています。



岐阜県の堀 貴雄教育長に作品を説明する様子